

この薬の形は？

販売名	アラセナSクリーム
剤形	クリーム剤
薬剤の色	白色
容量	1容器 2g



この薬に含まれているのは？

有効成分	ビダラビン
添加物	ステアリン酸、パルミチン酸、セタノール、自己乳化型モノステアリン酸グリセリル、グリセリン、D-ソルビトール、水酸化Na、水酸化K、パラベン、その他3成分を含有します。

その他

〈保管及び取り扱い上の注意〉

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない30℃以下の涼しい所に密栓して保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)使用前によく手を洗ってください。
- (4)他の容器に入れ替えないでください。
(誤用の原因になったり品質が変わるおそれがあります。)
- (5)使用期限をすぎた製品は、使用しないでください。
なお、使用期限内であっても、開封後は6ヵ月以内に使用してください。

お問い合わせ先

製造販売元 **佐藤製薬株式会社**
東京都港区元赤坂1丁目5番27号

本製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店又は下記にお願い申し上げます。

佐藤製薬株式会社 お客様相談窓口
電話 03(5412)7393
受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日を除く)

副作用被害救済制度のお問い合わせ先

(独)医薬品医療機器総合機構

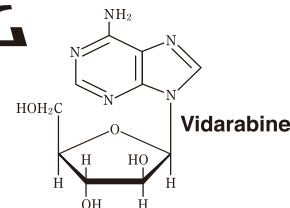
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>

電話 0120-149-931(フリーダイヤル)

第1類医薬品

口唇ヘルペスの再発治療薬

アラセナS クリーム



お客様用解説書について

お客様用解説書は、ご使用者の皆様へ、第1類医薬品の正しい理解と、副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、わかりやすく記載しています。

本品のご使用による副作用と考えられる場合には、ただちに医師又は薬剤師にご相談ください。

また、ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。



この薬は？

有効成分にビダラビンを配合した一般用医薬品の口唇ヘルペス再発治療薬です。

販売名	一般名(成分名)	分量
アラセナSクリーム Arasena S cream	ビダラビン Vidarabine	1g中30mg含有

この薬の効果は？

- アラセナSクリームの主成分であるビダラビンは、抗ウイルス剤に分類される薬剤で、口唇ヘルペスの原因となる単純ヘルペスウイルスの増殖を抑える働きがあります。
- アラセナSクリームは口唇ヘルペスの痛みや水疱(水ぶくれ)などの症状を緩和し、治る期間を短くします。

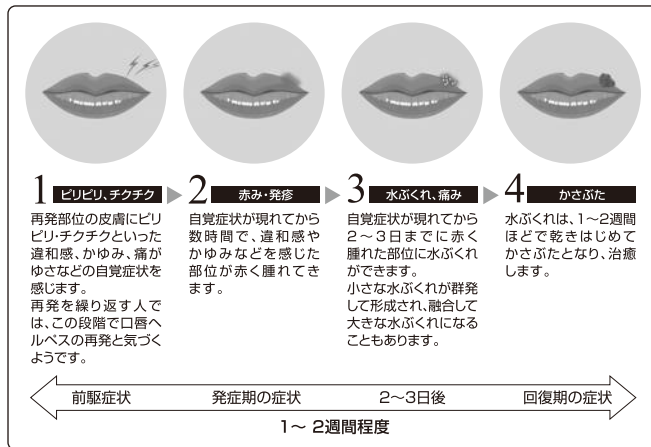


口唇ヘルペスとは

口唇ヘルペスは、単純ヘルペスウイルスの感染症によって引き起こされる、唇やその周りに痛みを伴う水疱(水ぶくれ)ができる病気です。

単純ヘルペスウイルスは、一度感染すると症状がなくなった後も神経細胞に住みつく特徴をもっています。そして発熱、疲労、ストレス、月経、紫外線などで体の抵抗力が落ちるとウイルスが活発化し、再発を繰り返す特徴があります。

何度も再発を繰り返す人ではその症状から再発の初期の段階で分かれるといわれています。



口唇ヘルペスの再発は、前駆症状があらわれてから1〜2週間程度で自然に治りますが、アラセナSクリームで早めの手当てを行うと症状が軽くなったり、治るまでの期間が短くなります。

この薬を使う前に、確認すべきことは？

次の人は本剤を使用しないでください

● 医師による口唇ヘルペスの診断・治療を受けたことのない人。	医師による口唇ヘルペスの診断を受けたことのない人は、自分で判断することが難しく、初めて発症した場合にはひどくなる可能性がありますので、医師の診療を受けてください。
● 患部が広範囲の人。	患部が広範囲に及ぶ場合は重症ですので、医師の診療を受けてください。
● 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。	本剤の使用により再びアレルギー症状を起こす可能性があります。
● 6歳未満の乳幼児。	乳幼児の場合、初めて感染した可能性が高いと考えられます。
● 発熱、広範囲の発疹等の全身症状がみられる人。	発熱や広範囲の発疹など全身症状がみられる場合は、重症化する可能性がありますので、医師の診療を受けてください。

次の部位には本剤を使用しないでください

● 口唇や口唇周辺以外の部位。	口唇ヘルペスは口唇やその周辺にできるものです。
-----------------	-------------------------

次の人は使用前に医師又は薬剤師にご相談ください

● 医師の治療を受けている人。	医師から処方されている薬に影響したり、本剤と同じ薬を使用している可能性があります。
-----------------	---

● 妊婦又は妊娠していると思われる人。	薬の使用には慎重を期し、専門医に相談して指示を受ける必要があります。
● 授乳中の人。	本剤と同じ成分を動物に注射したときに乳汁への移行が確認されています。
● 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。	薬などによりアレルギーを起こした人は、本剤でも起こる可能性があります。
● 湿潤やただれがひどい人。	重症の口唇ヘルペスカ、他の疾患の可能性があるので、専門医に相談して指示を受ける必要があります。
● アトピー性皮膚炎の人。	重症化する可能性がありますので、専門医に相談して指示を受ける必要があります。

この薬の使い方は？

用法・用量	1日1～4回、患部に適量を塗布する。 (唇やそのまわりにピリピリ、チクチクなどの違和感をおぼえたら、すぐに塗布する)
-------	---

- 症状がでたら出来るだけ早く(5日以内)に使用してください。早期に使用すると治りが早く重症化しにくいいため、ピリピリ、チクチクなどの違和感を覚えたらすぐに使用を開始してください。
- 使用時期は毎食後、就寝前を目安にご使用ください。
- 使用期間は10日程度が目安です。
- かさぶたができて乾燥したら使用終了です。

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1)定められた用法・用量を厳守してください。
- (2)小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させてください。

- (3)目に入らないよう注意してください。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗ってください。なお、症状が重い場合には、眼科医の診療を受けてください。
- (4)外用にのみ使用してください。
- (5)口に入れたり、なめたりしないでください。
- (6)家族で初めて発症したと思われる人が誤って使用しないよう、十分注意してください。

使用を忘れた場合の対応

使い忘れた場合、気がついたときにすぐに塗ってください。
ただし、次に塗る時間が近い場合は忘れた分を抜いてください。
2回分を一度に使ってはいけません。

多く使用した場合の対応

医師または薬剤師に相談してください。

この薬の使用中に気をつけなければならないことは？

長期連用しないでください

本剤の使用により症状の改善がみられても、治るまでに2週間を超える場合は、重症か他の疾患の可能性があります。

- 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性がありますので、直ちに使用を中止し、添付文書を持って医師又は薬剤師にご相談ください

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、はれ、かゆみ、かぶれ、刺激感

本剤によるアレルギー症状であるか、本剤の刺激であると考えられ、このような場合、続けて使用すると症状がさらに悪化する可能性があります。

- 5日間使用しても症状がよくなりません場合は使用を中止し、添付文書を持って医師又は薬剤師にご相談ください

5日間使用しても症状の改善がみられないときは、重症か他の疾患の可能性があるので、なるべく早く医師又は薬剤師にご相談ください。

日常生活での注意

口唇ヘルペスの再発を防ぐためのアドバイス

口唇ヘルペスは、肉体的・精神的ストレスによって体の抵抗力が弱まると再発してしまう病気です。日ごろの健康に気をつけ、バランスの取れた食事と十分な休息をとりましょう。

口唇ヘルペスになってしまったら

次のことを心がけましょう。

1. 患部にさわらないようにしましょう。
水ぶくれの中はウイルスの量が多く、感染しやすくなっています。触った後はすぐに手を洗いましょう。
2. タオルや食器を共用しないようにしましょう。
水ぶくれに触れたタオル・衣類などは、ほかの洗濯物と一緒に洗わないようにしましょう。
食器についてウイルスでほかの人に感染することがあります。食器は洗剤で洗いましょう。
3. 水ぶくれは破らないようにしましょう。
水ぶくれを破ると痕が残る原因になることがあります。